



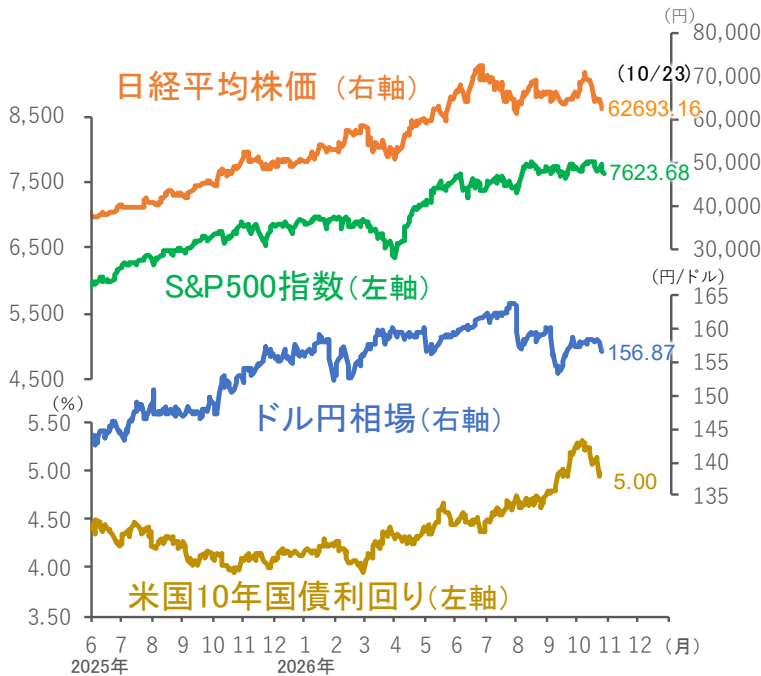
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.10.26

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

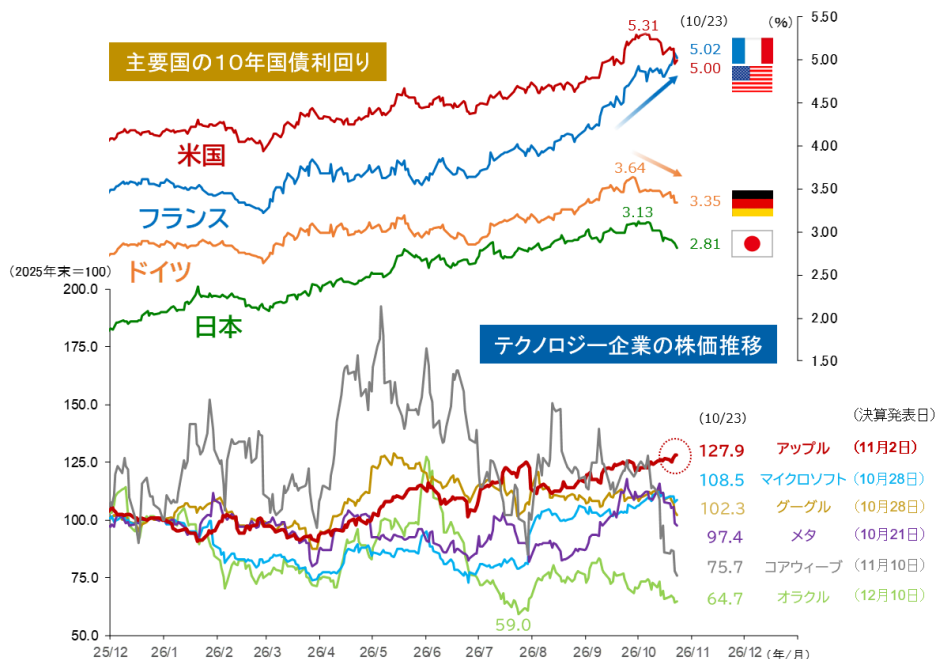
先週は、AIを巡る過剰投資への警戒感の高まりや原油価格の上昇、フランスの財政悪化懸念などから、前週に続き株安・債券高となりました。主要株価指数の週間騰落率は、S&P500指数が▲0.5%、ナスダック総合指数が▲0.7%、独DAX指数が▲1.7%、日経平均株価が▲4.0%の下落となりました。一方、10年国債利回りは、米国が前週末比▲8bpの4.996%と約1ヵ月ぶりに5%割れ、ドイツは▲8bpの3.35%、日本は同▲12bpの2.81%と8月初旬以来の水準に低下しました。ドル円相場は本邦資金の国内回帰を反映し1ドル=156円87銭で終わりました。

今週は、日米欧で金融政策決定会合が相次いで開催されます。いずれも政策金利の据え置きが予想されており、次回12月会合での追加利上げに関する何らかの示唆が得られるかに関心が集まります。個別材料では、マイクロソフトやアマゾン等の米大手テック企業の7-9月期決算発表で、堅調な業績と旺盛なAI投資計画が維持されるか注目されます。

当面の注目イベント

- ◆米・FOMC (27・28日)
- ◆加・中央銀行・政策理事会 (28日)
- ◆欧・ECB理事会 (28・29日)
- ◆米・9月コアPCEデフレーター (29日)
- ◆日・日銀金融政策決定会合 (29・30日)
- ◆米・7-9月期GDP速報値 (29日)

先週は、財政悪化懸念が高まっているフランス国債が売られ(利回り上昇)、米・独・日の国債が買われました(利回り低下)。一方、米国株式市場ではテクノロジー株が総じて下落する中、アップル株が逆行高となりました



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

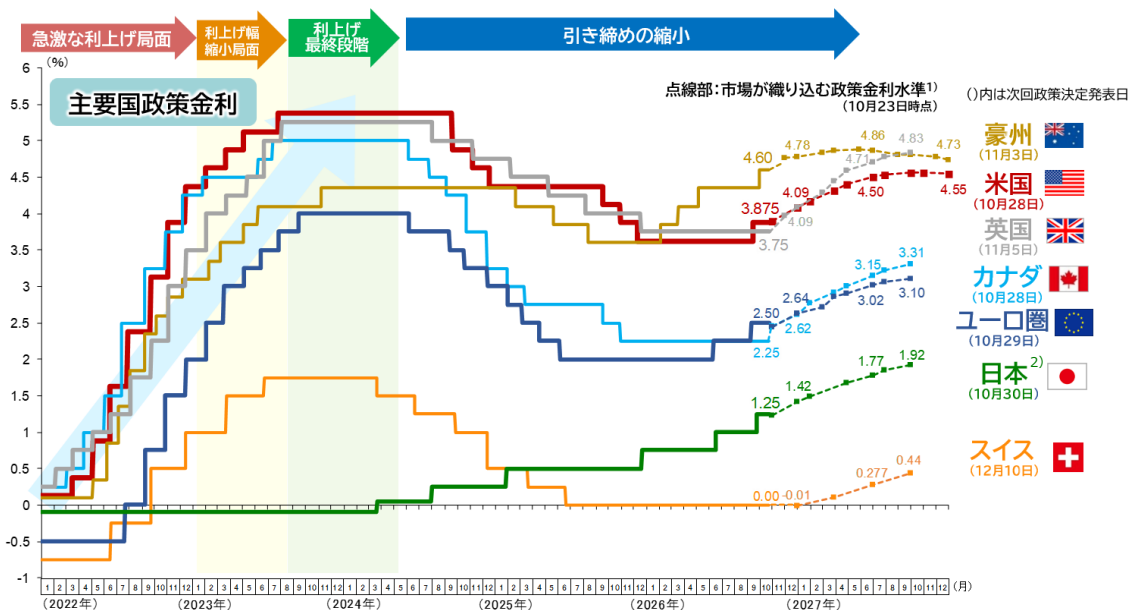
RESONA

11月3日の米中間選挙が間近に迫る中、米国とイランが新たな軍事攻撃に踏み切るとの警戒が高まっています。これを受け先週のWTI期近は、一時5ヵ月ぶりの高水準となる1バレル=110ドル台まで上昇しました



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

今週は、米国・ユーロ圏・日本の金融政策決定会合が相次いで開催されます。いずれも政策金利の据え置きが予想されており、次回12月会合での追加利上げについて何らかの示唆が得られるかに注目が集まります



- 1) 米国・オーストラリアは先物、その他はOISが織り込む政策金利水準
2) 日本の政策金利: 2024年3月19日までは日銀当座預金金利、2024年3月21日以降は無担保コール翌日物

【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年11月2日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。